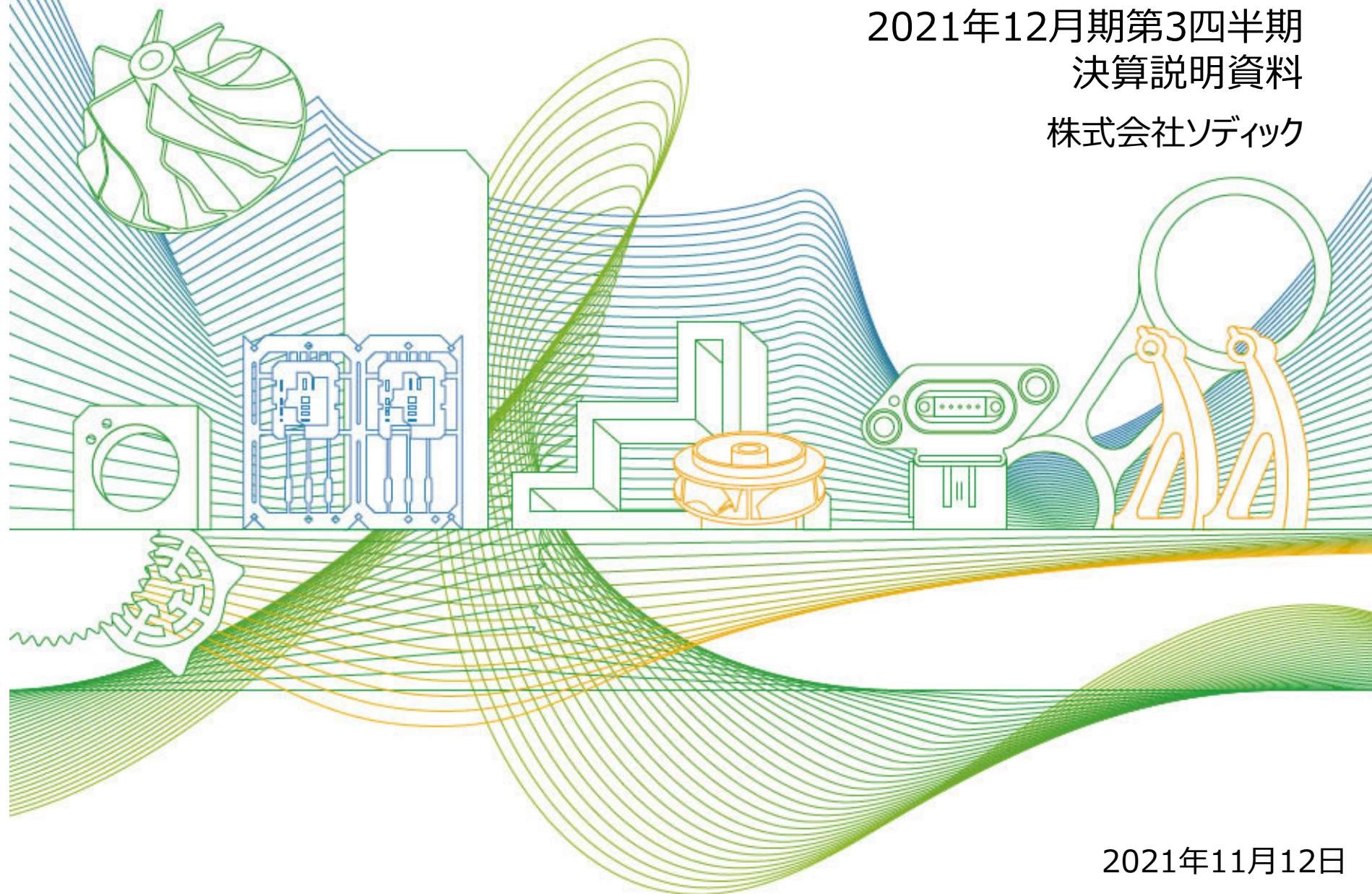




東証一部 6143

2021年12月期第3四半期
決算説明資料
株式会社ソディック



2021年11月12日

I. 2021年12月期 3Q決算概要

II. 2021年12月期 業績予想

(参考資料)

業績ハイライト



- ✓ 中華圏での放電加工機の販売が全体売上高の増加を牽引。中華圏以外の地域においても回復傾向が継続。
- ✓ 利益面では、生産台数の増加に伴い、工場での収益性が改善。
円安に伴う為替差益や雇用調整助成金等により営業外収益が増加し、経常利益を押し上げ。

(単位：百万円)	2020年12月期 3Q		2021年12月期 3Q		前年同期比 増減		2021年12月期 通期予想 (8/6修正)	
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	金額	利益率
売上高	40,744	-	53,976	-	13,231	32.5%	71,800	-
売上総利益	12,859	31.6%	18,572	34.4%	5,712	44.4%		
営業利益	827	2.0%	4,950	9.2%	4,123	498.5%	6,100	8.5%
経常利益	893	2.2%	6,077	11.3%	5,183	580.2%	7,000	9.7%
当期純利益	619	1.5%	4,377	8.1%	3,758	607.2%	4,900	6.8%
	売上高比率		売上高比率					
設備投資額	1,566	3.8%	1,954	3.6%			3,100	
減価償却費	2,521	6.2%	2,548	4.7%			3,500	
研究開発費	2,364	5.8%	2,305	4.3%			3,600	
期中平均 為替レート	ドル	107.55 円		108.58 円		1.03円 円安	108.00円	
	ユーロ	120.93 円		129.87 円		8.94円 円安	129.00円	
	人民元	15.37 円		16.77 円		1.4円 円安	16.80円	
	バーツ	3.41 円		3.45 円		0.04円 円安	3.45円	

業績ハイライト（四半期別）



- ✓ 第3四半期の売上高は、日本・欧州の工作機械の売上が増加するも、中華圏・アジアで工作機械、産業機械ともに落ち着きが見られ、今期2Q比で減少。
- ✓ 利益面では、放電加工機の生産台数が引き続き高水準となったこと等により利益率は今期2Q比横ばい。

(単位：百万円)	2021年12月期						前四半期比増減	
	1Q (1-3月)	利益率	2Q (4-6月)	利益率	3Q (7-9月)	利益率	金額	率
売上高	14,317	-	20,187	-	19,471	-	△715	△3.5%
売上総利益	4,652	32.5%	7,019	34.8%	6,899	35.4%	△120	△1.7%
営業利益	424	3.0%	2,289	11.3%	2,235	11.5%	△54	△2.4%
経常利益	1,176	8.2%	2,607	12.9%	2,293	11.8%	△314	△12.0%
当期純利益	871	6.1%	1,776	8.8%	1,729	8.9%	△47	△2.6%

期中平均 為替レート	ドル	106.09 円	107.82 円	108.58 円
	ユーロ	127.81 円	129.89 円	129.87 円
	人民元	16.35 円	16.65 円	16.77 円
	バーツ	3.50 円	3.50 円	3.45 円

売上高・営業利益率推移（四半期毎）



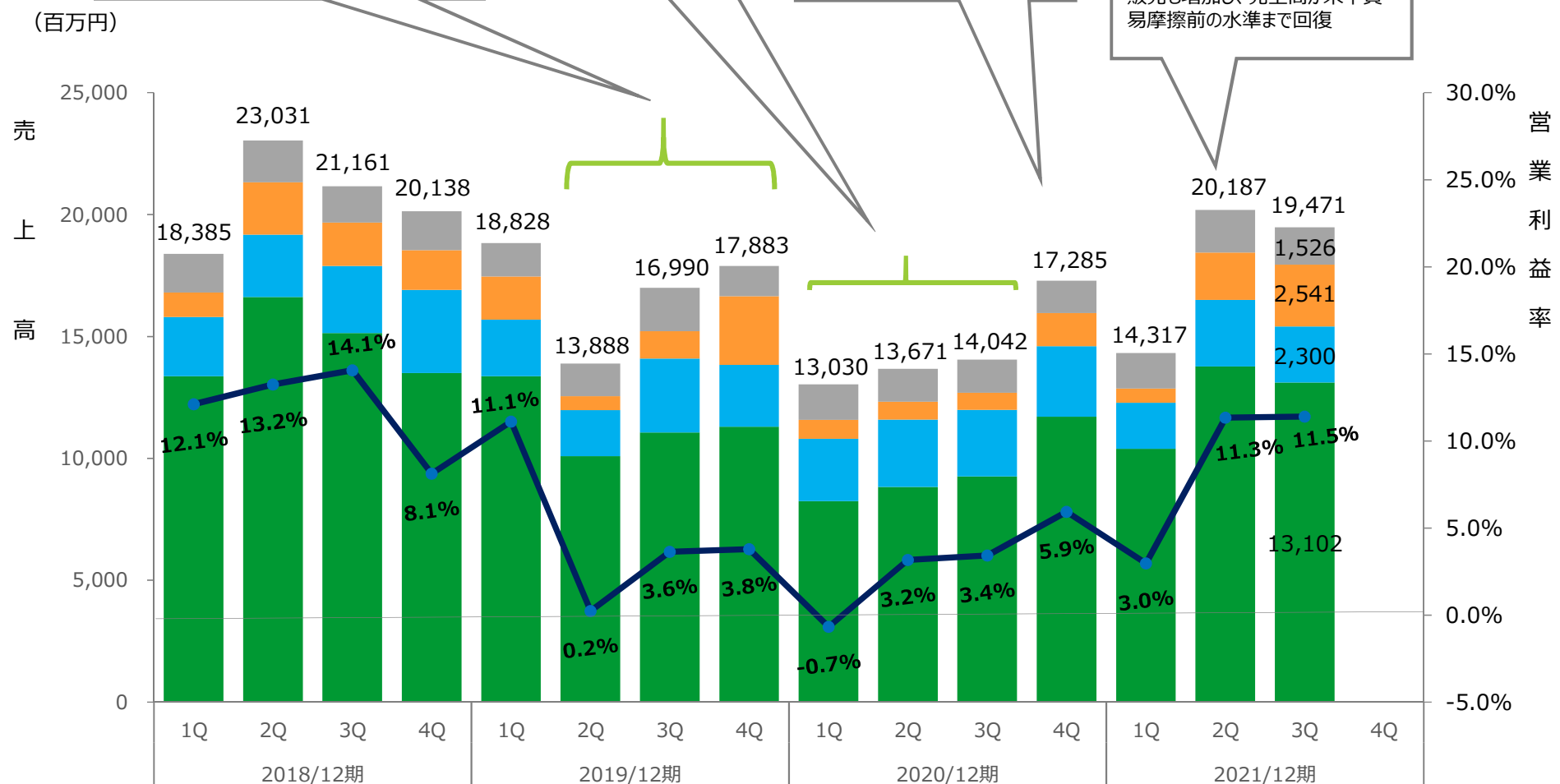
【売上高】
 ・米中貿易摩擦の影響により
 放電加工機の販売が低迷

【営業利益率】
 ・生産台数の減少に伴い収益性が低調

新型コロナウイルス感染拡大の
 影響により売上高減少。
 中華圏は3月以降回復、
 3Qは日米欧で回復傾向

中華圏を中心に放電加工機・
 射出成形機の販売が伸長

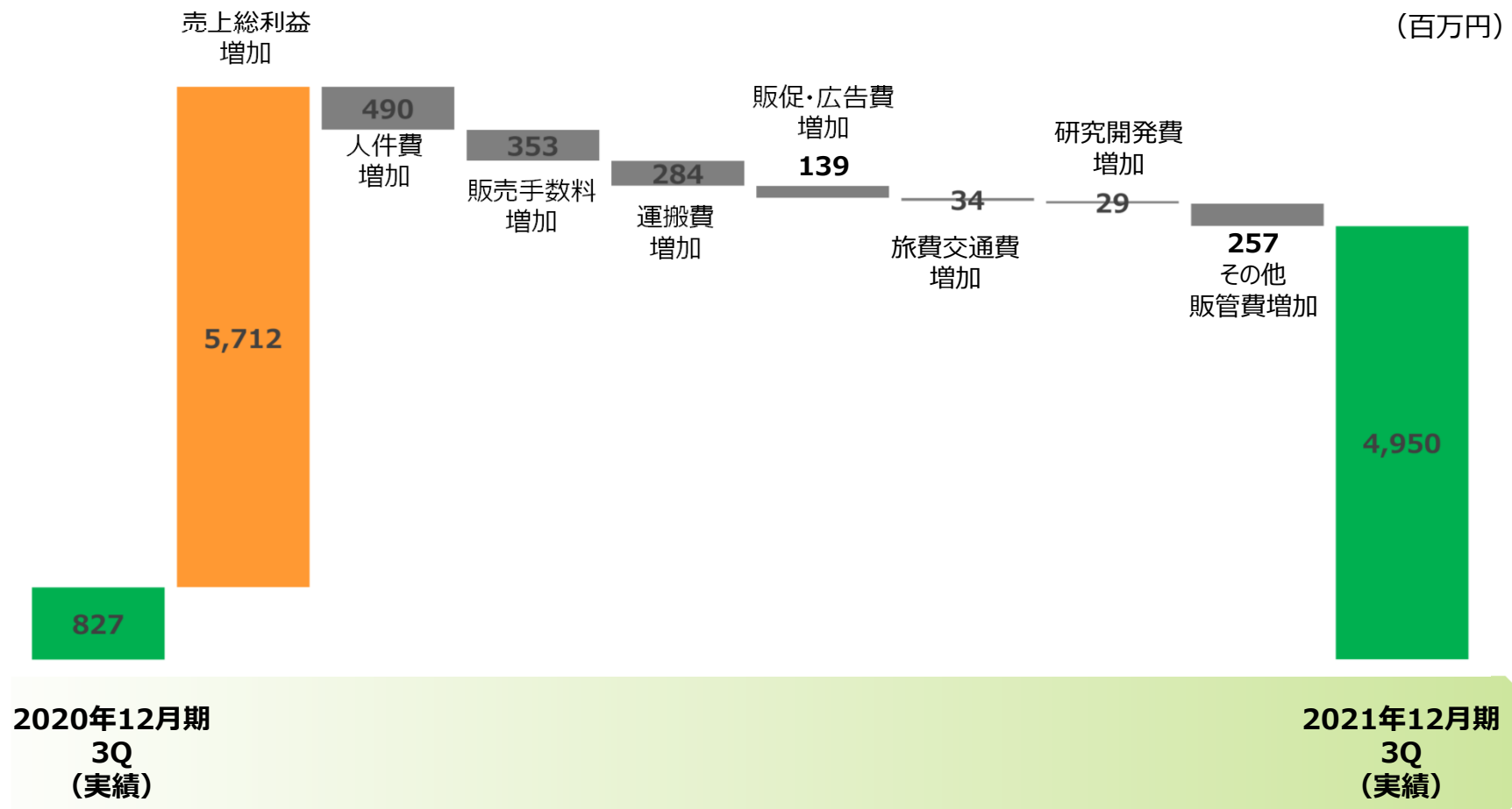
中華圏・欧米での放電加工機の
 販売が伸長したほか、食品機械の
 販売も増加し、売上高が米中貿易
 摩擦前の水準まで回復



※1Q: 1-3月、2Q: 4-6月、3Q: 7-9月、4Q: 10-12月

営業利益増減要因

- ✓ 販売台数の増加に伴い、売上総利益は大幅に増加。
- ✓ 人件費の増加、販売増加に伴う運搬費や販売手数料が増加した一方、昨年コロナ禍において縮減されていた旅費交通費・販促広告費の増加は限定的。販管費全体としては前年同期比15億89百万円増加



セグメント別業績



(単位：百万円)	2020年12月期	2021年12月期	増減		2021年12月期 通期予想 (8/6修正)
	3Q 実績	3Q 実績	金額	率	
工作機械事業	26,317	37,248	10,930	41.5%	48,600
産業機械事業	8,045	6,928	△ 1,116	△13.9%	10,500
食品機械事業	2,223	5,063	2,840	127.8%	6,500
その他事業	4,158	4,735	577	13.9%	6,200
売上高 計	40,744	53,976	13,231	32.5%	71,800
工作機械事業	1,675	5,260	3,585	214.1%	6,800
産業機械事業	370	274	△ 96	△26.0%	500
食品機械事業	27	566	538	1968.0%	600
その他事業	312	688	376	120.7%	700
セグメント利益 計	2,385	6,790	4,404	184.6%	8,600
調整額	△ 1,558	△ 1,839	△281	—	△ 2,500
営業利益 合計	827	4,950	4,123	498.5%	6,100

セグメント別業績

(百万円)

■ 工作機械事業

【売上高】

- 中華圏での自動車、電子部品、5G、半導体分野が堅調であるほか、中華圏以外の地域でも回復基調であり、売上高は前年同期比で増加。
- 足元での受注は高水準で推移するも、部材調達のひっ迫等によるリードタイムの長期化や中国での電力不足による影響が懸念



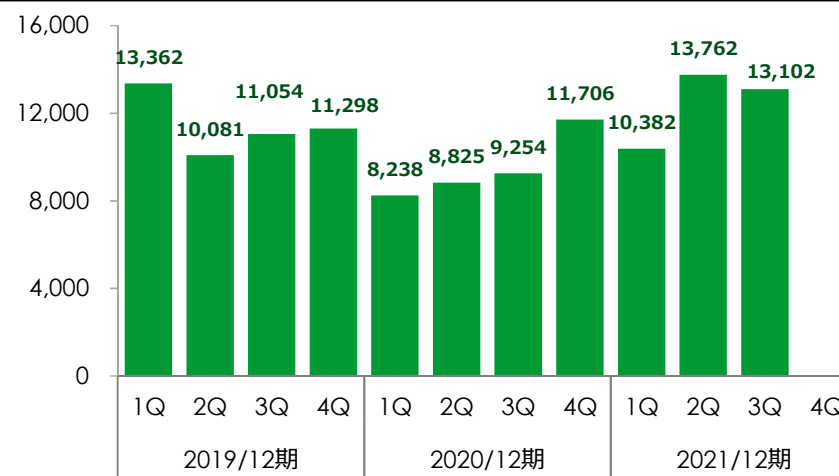
【セグメント利益】

- 生産台数の増加に伴い工場収益性が改善し、前年同期比で大幅に増加。

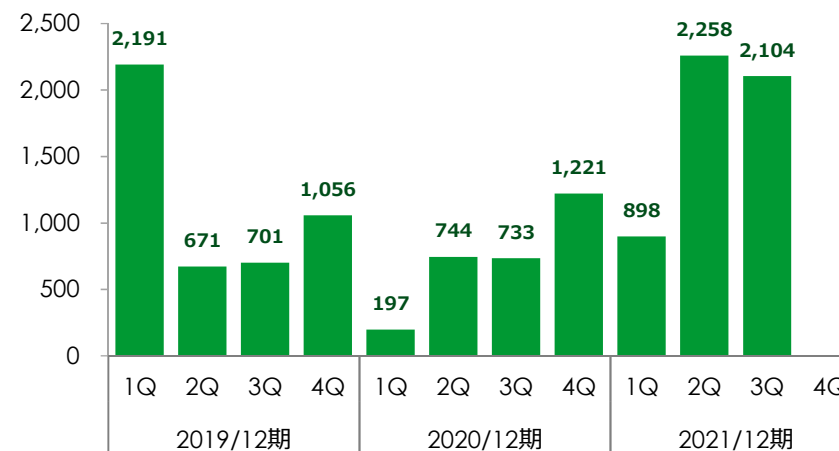
(百万円)

	2020年 12月期 3Q	2021年 12月期 3Q	増減	
			金額	率
売上高	26,317	37,248	10,930	41.5%
セグメント利益	1,675	5,260	3,585	214.1%

売上高 (四半期毎)



セグメント利益 (四半期毎)



セグメント別業績

(百万円)

■産業機械事業

【売上高】

- 北米の医療関係は好調が継続したほか、3Qでは日本の自動車・電子部品向け需要緩やかに回復
- 中国向け売上減少のほか、前期4Qでの短納期対応の影響による今期1Qの売上低調もあり、第3四半期累計売上は前年同期比減少

【セグメント利益】

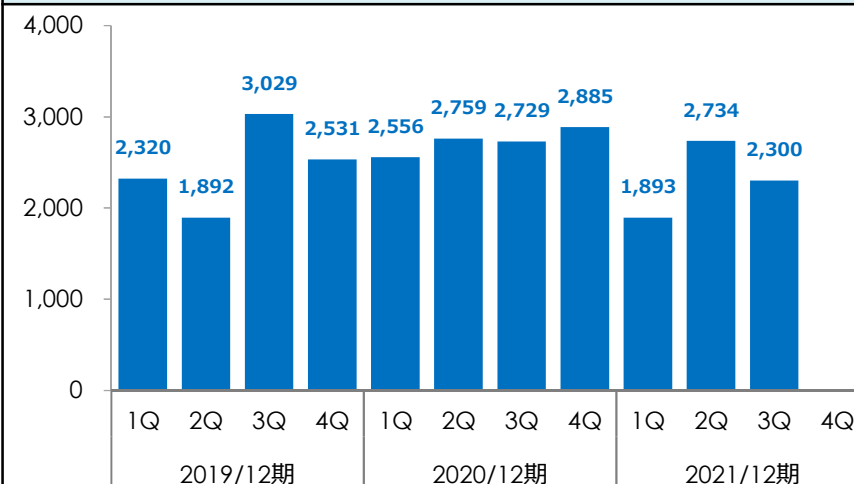
- 3Qは売上減少に伴い、セグメント利益も減少



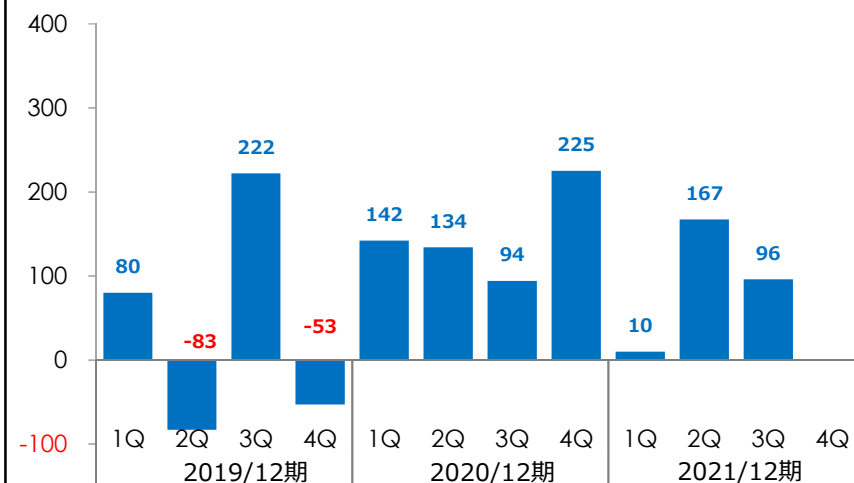
(百万円)

	2020年 12月期 3Q	2021年 12月期 3Q	増減	
			金額	率
売上高	8,045	6,928	△ 1,116	△13.9%
セグメント利益	370	274	△ 96	△26.0%

売上高 (四半期毎)



セグメント利益 (四半期毎)



セグメント別業績

(百万円)

■ 食品機械事業

【売上高】

- 衛生面・省人化対応設備、外出自粛に伴う巣ごもり需要に関連した案件が継続。
- 日本国内向けのほか、中華圏及びアジアにおいても、製麺機や米飯製造装置の販売が増加。

【セグメント利益】

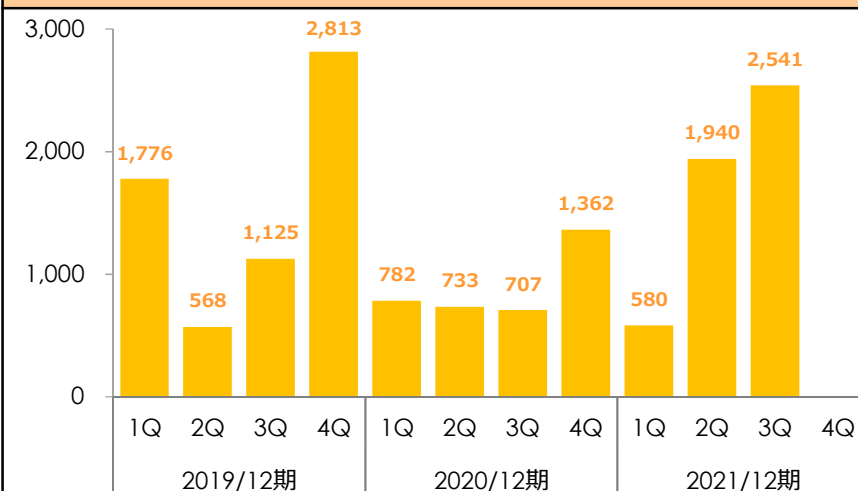
- 製麺ラインや米飯装置の売上増加に伴い、前年同期比で大幅に増加



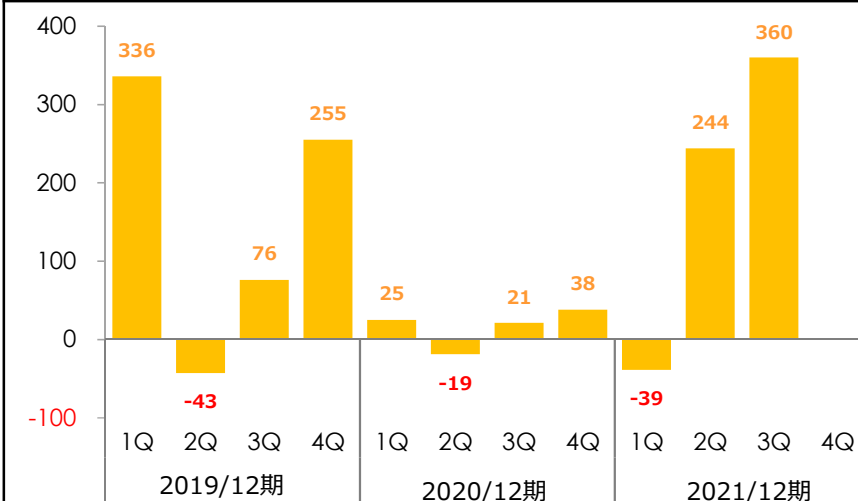
(百万円)

	2020年 12月期 3Q	2021年 12月期 3Q	増減	
			金額	率
売上高	2,223	5,063	2,840	127.8%
セグメント利益	27	566	538	1968.0%

売上高 (四半期毎)



セグメント利益 (四半期毎)



セグメント別業績



(百万円)

■ その他事業

【売上高】

- 情報通信設備等の需要増によりセラミックスの需要は継続
- 金型成形事業は、世界的な半導体不足により自動車産業の需要が減速するも、自動化ラインによる生産性向上、高付加価値部品などの生産品目の拡大により前年同期比で増加

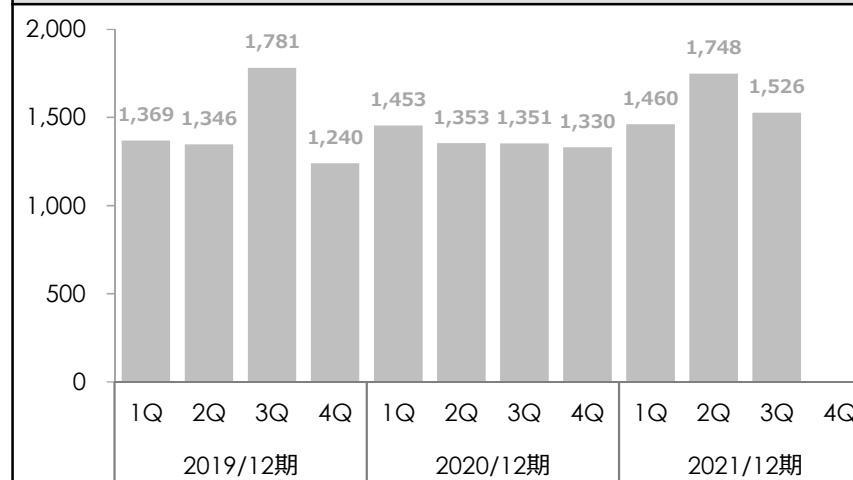
【セグメント利益】

- 金型成形事業において自動化対応等による生産効率向上により、収益性が改善し、前年同期比で大幅に増加

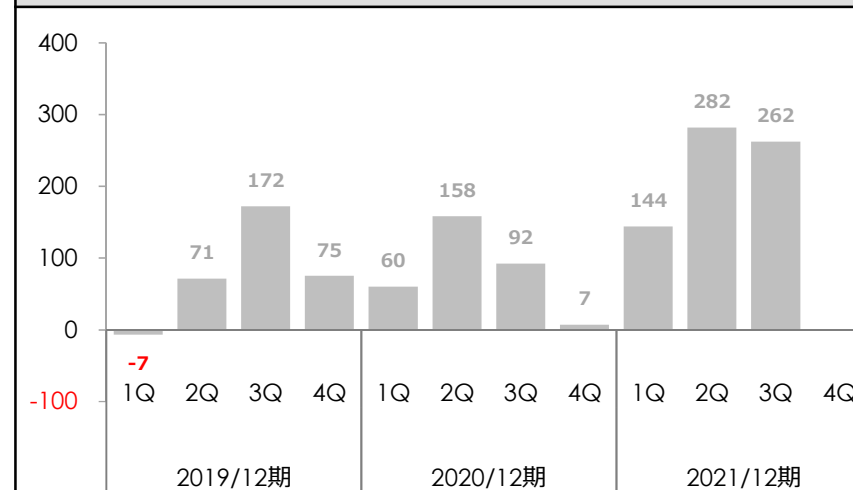
(百万円)

	2020年 12月期 3Q	2021年 12月期 3Q	増減	
			金額	率
売上高	4,158	4,735	577	13.9%
セグメント利益	312	688	376	120.7%

売上高 (四半期毎)

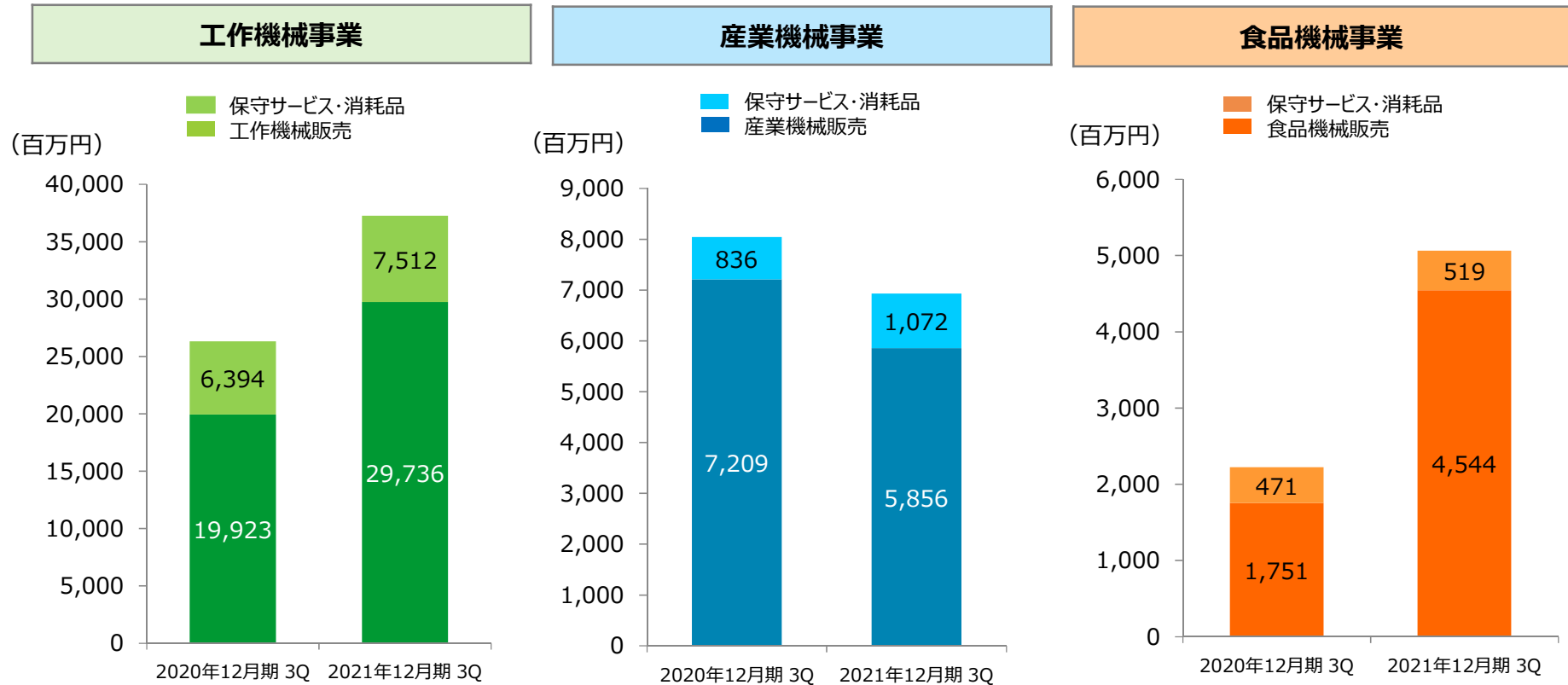


セグメント利益 (四半期毎)



セグメント別 売上高内訳

- ✓ 機械の稼働率向上に伴い、全セグメントにおいて、保守サービス・消耗品の販売が増加。
- ✓ 安定キャッシュを生み出す保守サービス・消耗品の売上高は約2割を占める

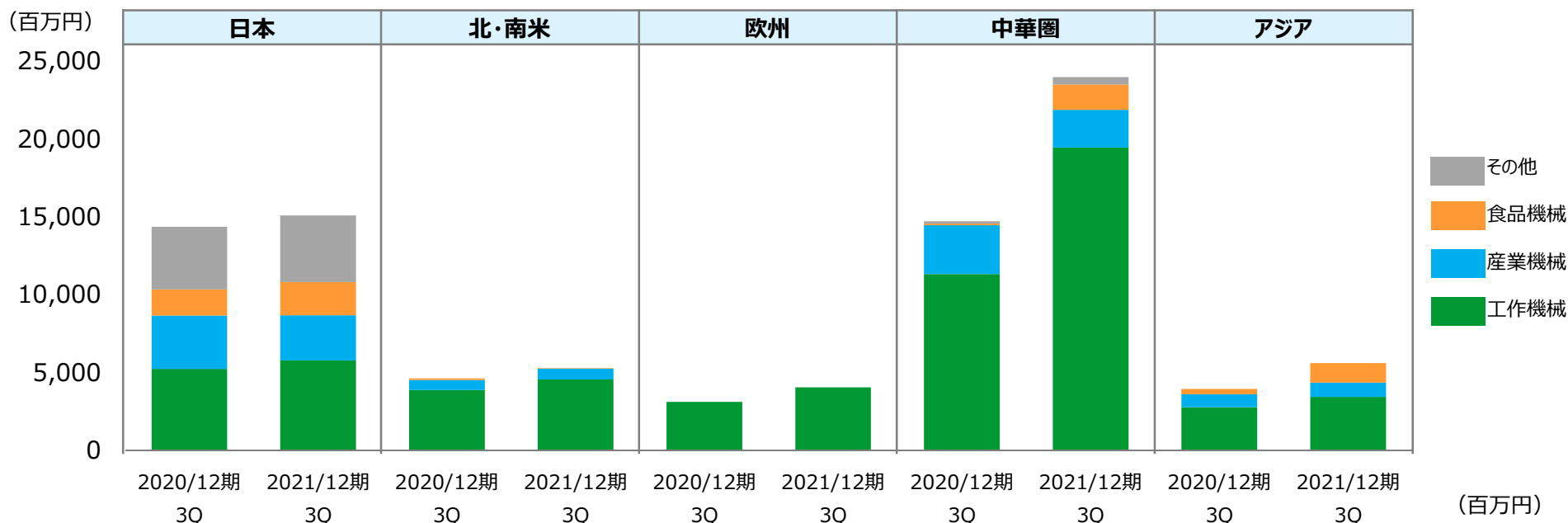


	工作機械事業				産業機械事業				食品機械事業			
	2020年12月期 3Q		2021年12月期 3Q		2020年12月期 3Q		2021年12月期 3Q		2020年12月期 3Q		2021年12月期 3Q	
機械販売	19,923	75.7%	29,736	79.8%	7,209	89.6%	5,856	84.5%	1,751	78.8%	4,544	89.7%
保守サービス・消耗品	6,394	24.3%	7,512	20.2%	836	10.4%	1,072	15.5%	471	21.2%	519	10.3%
合計	26,317		37,248		8,045		6,928		2,223		5,063	

事業別海外売上高比率



✓ 中華圏の放電加工機販売増加に加え、中華圏・アジアでの食品機械の売上増加により、海外売上高比率が70%を超過



2020年12月期 3Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	5,235	19.9%	3,872	14.7%	3,117	11.8%	11,314	43.0%	2,776	10.6%	26,317	64.6%
産業機械	3,417	42.5%	656	8.1%	-	-	3,143	39.1%	827	10.3%	8,045	19.7%
食品機械	1,686	75.9%	100	4.5%	-	-	94	4.2%	341	15.4%	2,223	5.5%
その他	4,009	96.4%	0	0.0%	-	-	148	3.6%	-	-	4,158	10.2%
地域別計	14,348	35.2%	4,631	11.4%	3,117	7.7%	14,701	36.1%	3,946	9.7%	40,744	100.0%

2021年12月期 3Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	5,770	15.5%	4,549	12.2%	4,043	10.9%	19,440	52.2%	3,443	9.2%	37,248	69.0%
産業機械	2,905	41.9%	694	10.0%	0	0.0%	2,422	35.0%	905	13.1%	6,928	12.8%
食品機械	2,140	42.3%	38	0.7%	0	0.0%	1,624	32.1%	1,259	24.9%	5,063	9.4%
その他	4,265	90.1%	-	-	-	-	469	9.9%	-	-	4,735	8.8%
地域別計	15,082	27.9%	5,283	9.8%	4,044	7.5%	23,957	44.4%	5,608	10.4%	53,976	100.0%

為替の影響額	-	+約 0.4 億円	+約 2.8 億円	+約 18 億円	+約 0.8 億円	+約 22 億円
--------	---	-----------	-----------	----------	-----------	----------

貸借対照表



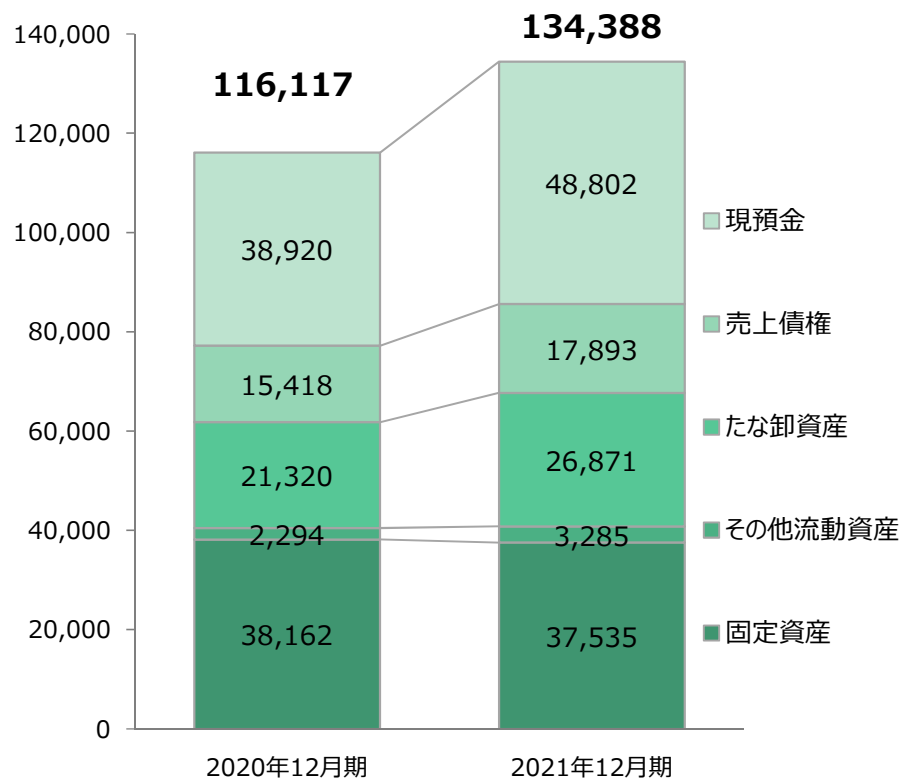
- ✓ 2021年4月に償還期限を迎えた転換社債の新株への転換行使の結果、ネットキャッシュプラス、D/Eレシオ0.5倍を達成、自己資本比率は50%を超過し、財務体質が強化
- ✓ 部材不足に備えた先行手配やタイ工場でのコロナ感染拡大による一時的な生産減少などから、仕掛品・原材料等の棚卸資産が大幅に増加

「第1回無担保転換社債型新株予約権付社債」(※)の新株への転換行使の結果 (2021年4月16日償還)

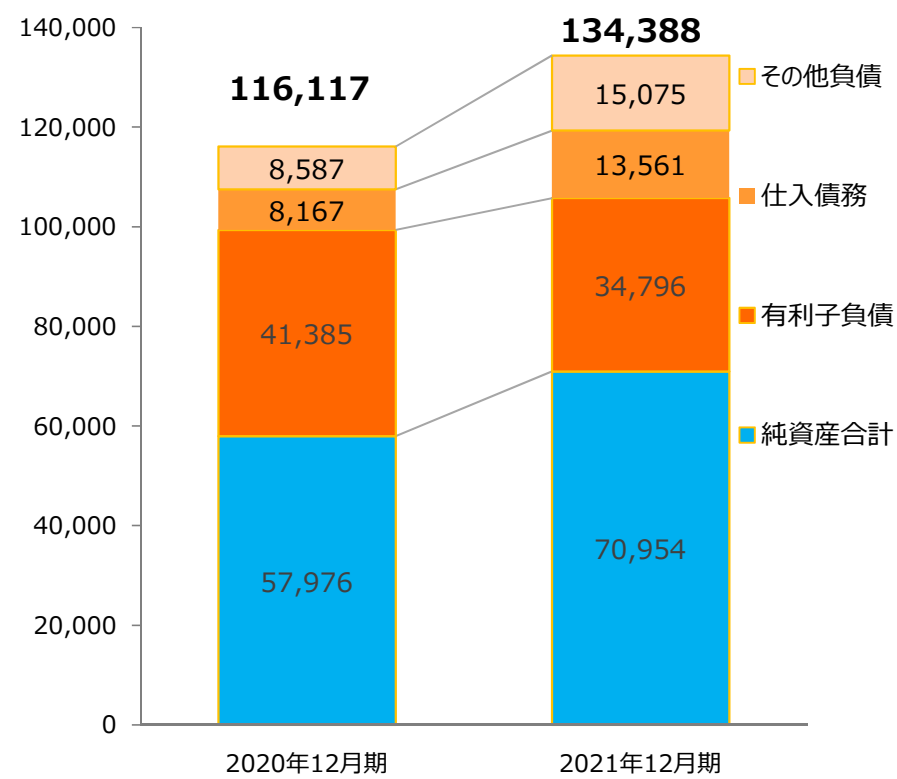
- ・行使個数 : 7,686個
- ・社債減少額 : 76億86百万円
- ・増加株式/株数 : 普通株式7,447,629株

※発行時期：2016年4月、発行総額：80億円

資産 (百万円)



負債・純資産 (百万円)



※参考情報 2021年9月末 為替レート ドル：111.92円 ユーロ：129.86円 人民元：17.30円 パーツ：3.30円
 2020年12月末 為替レート ドル：103.50円 ユーロ：126.95円 人民元：15.88円 パーツ：3.44円

1 長時間高速安定造形に対応した金属3Dプリンタの新機種「LPM325S」を開発



複数の多彩な金属粉末に対応

自社開発の粉末供給・回収装置を搭載することにより、操作性向上、鉄系、SUS系、アルミ、チタン粉末など、使用粉末の切り替え作業の業務効率向上を実現。

メンテナンス頻度の大幅削減

金属蒸気の集積物（ヒューム）回収能力を向上・最適化し、メンテナンス頻度を半減。

予知保全

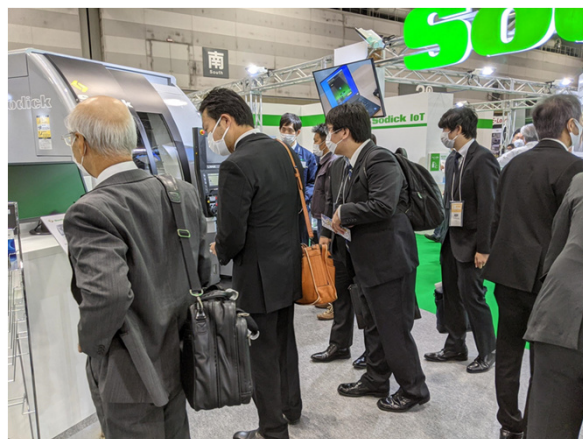
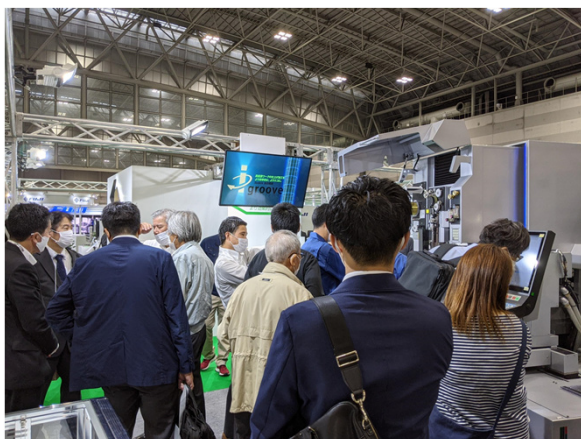
造形物状態や各部の稼働状態を高度なセンシング技術で常時モニタリング、造形不良を未然に防止。

高速造形

デュアルレーザ搭載により、造形速度が従来比2倍に向上。

2 メカトロテックジャパン2021 (MECT 2021) へ出展

2021年10月に名古屋で開催されたメカトロテックジャパンでは、世界初のワイヤ回転機構を搭載した新機種のワイヤ放電加工機「ALN600G iGE」を初出展したほか、金属3Dプリンタ「LPM325S」のデモンストレーションを行うなど、コロナ禍ではありながらも、多くのお客様にお越しいただき非常に活況となりました。



■ 自社Web展も同時開催しました ■



**MECT 2021 WEB展示会
メカトロテックジャパン2021
MECHATRONICS TECHNOLOGY JAPAN**

Sodickオンラインブース

ソディックブースへようこそ!

最新効率を大幅に向上した「金属3Dプリンタ」の新機種や、ワイヤ回転機構を搭載したワイヤ放電加工機、機上測定システムや自動ロボットシステムによる効率化・省人化など、最新の技術・技能の数々をご覧ください。

自動化・見える化・省人化

現代社会における、働き方の変化はますます加速しています。このソディックでは、「自動化・見える化・省人化」をテーマに、工場業務と生産性向上を実現する最新の工作機械を、一挙に御案内いたします。
[見どころマップ\(PDF\)](#)



「LPM325S」です!

このマシンで、複数の多彩な金属粉末による加工が可能

金属粉末自動供給自動排出装置MRS[®]1を新開発し、標準装備です。

粉末による運用を行う場合、1台の設備で対応可能であり、機は粉末毎のMRSを付け替えるだけで極めて簡単です。

1日中で2時間以内の作業完了を可能としました。(当社指定条件)



【メカトロテックジャパン 2021 概要】

会 期 : 2021/10/20~23 (4日間)

会 場 : ポートメッセなごや (名古屋市国際展示場)

来場者数 : 68,929人

出展機種 : ワイヤ放電加工機「ALN600G iGE」 (初出展)
 形彫り放電加工機「AL40G」
 ウルトラハイスピードミーリングセンタ「UH430L」
 金属3Dプリンタ「LPM325S」
 IoTシステム関連

3 名古屋プラスチック展へ出展

2021年9月に名古屋で開催された名古屋プラスチック展では、新たに開発した縦型ロータリー式射出成形機「TR40VRE2」や、電動成形機MSシリーズ2機種を出展いたしました。

コロナ禍において、約1年半ぶりのリアル展開催となり、十分な感染予防対策を講じた上で、機械の実演等を行うなど、当社製品のプロモーションに注力いたしました。



【名古屋プラスチック展 2021 概要】

会期 : 2021/9/29~10/1 (3日間)
会場 : ポートメッセなごや (名古屋市国際展示場)
来場者数 : 10,036人
出展機種 : V-LINE® 縦型ロータリー式 射出成形機「TR40VRE2」
V-LINE® 電動射出成形機「MS100」「MS150」
IoTシステム関連

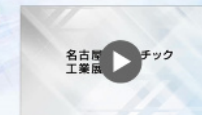
■ 自社Web展も同時開催しました ■



名古屋プラスチック工業展2021
WEB展示会

ブース出展機

~CASE時代に適応できる最高の成形品質を提供~
デジタル成形システム構築に
V-LINE®が貢献する



名古屋プラスチック工業展2021
ソディック最新ソリューション
ご案内動画 (3分10秒)

名古屋プラスチック工業展2021
ソディック最新ソリューション
見どころマップ(PDF)



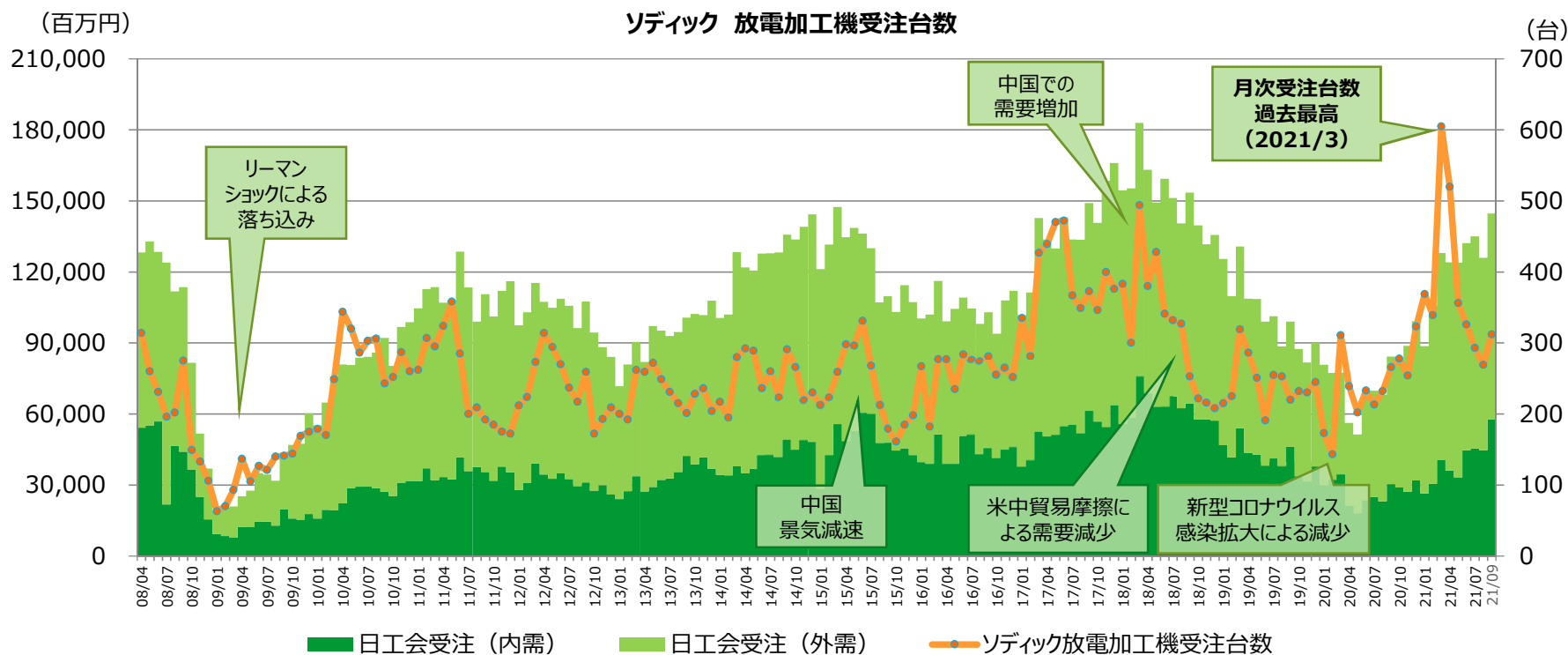
I. 2021年12月期 3Q決算概要

II. 2021年12月期 業績予想

(参考資料)

国内	政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要のほか、次世代自動車や5G関連向けなどの需要は期待できるも、未だ新型コロナウイルスによる落ち込みから回復しきれていない状況。
欧米	航空宇宙関連においては厳しい状況が継続する見通しだが、自動車関連には回復傾向が見られる。
中華圏	中国国内での電力不足や米中関係の悪化など、先行きは不透明感あるも、5G、半導体、自動車関連等でのづくりの高度化や自動化ニーズの高まり等あり、高精度機の需要継続見込み。
アジア	地域別に濃淡あるも、回復に転じる見込み。

日本工作機械工業会 工作機械受注金額・
ソディック 放電加工機受注台数



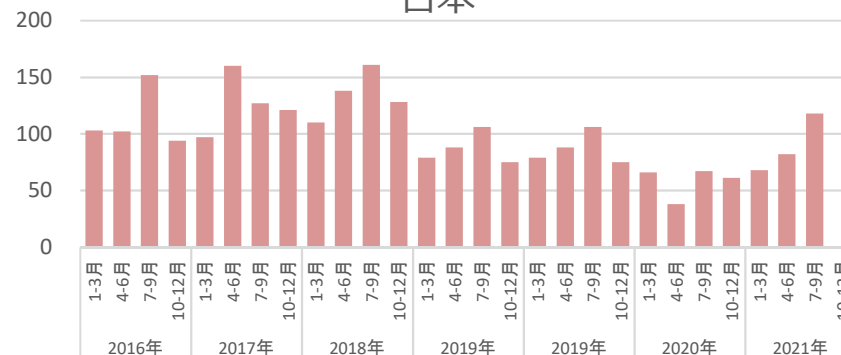
放電加工機 地域別受注推移



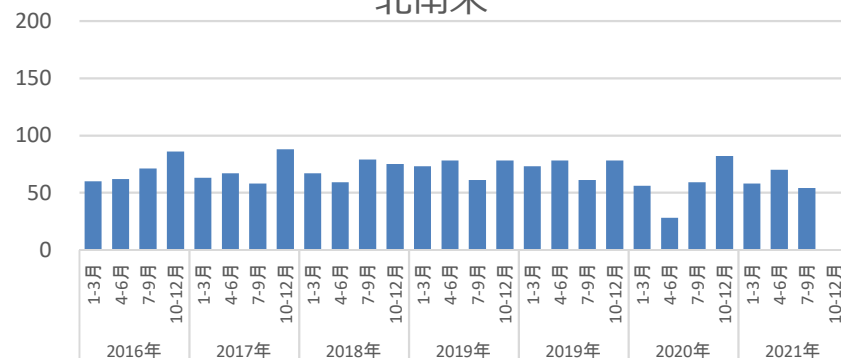
- ✓ 日本は補助金政策も追い風となり回復基調であり、3Qはコロナ前の水準。
- ✓ 中国では季節性もあり、受注に落ち着きが見られる

(単位：台)

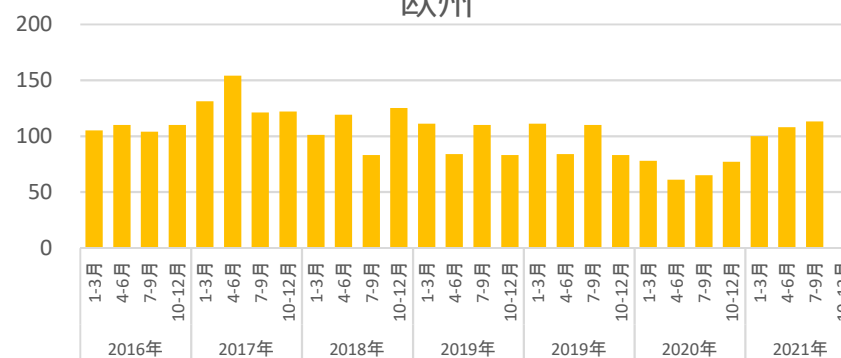
日本



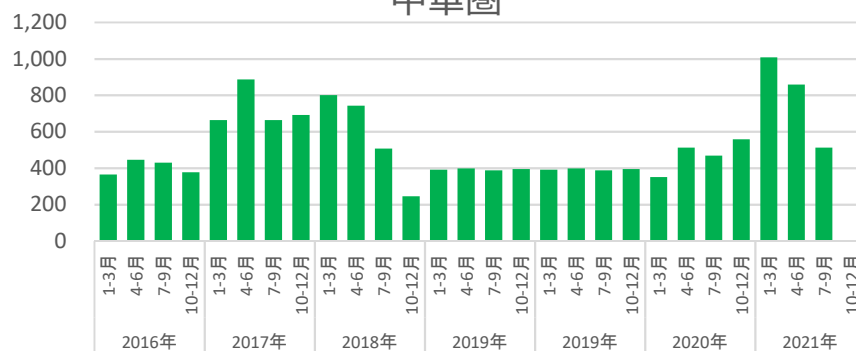
北南米



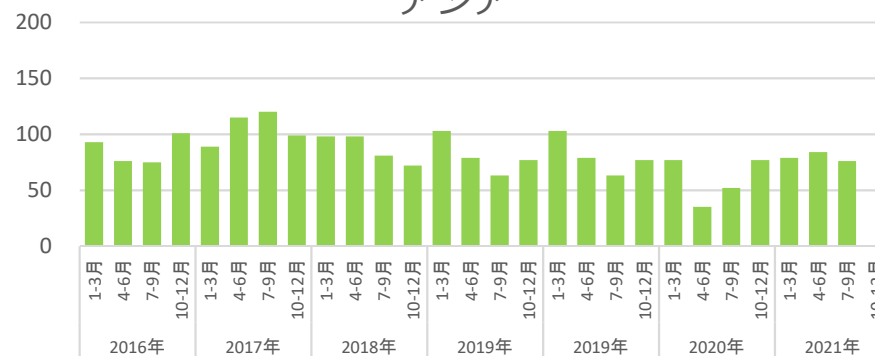
欧州



中華圏



アジア



2021年12月期 通期業績予想（進捗状況）



- ✓ 8/6に公表した2021年12月期通期業績予想に対し、第3四半期累計業績の進捗は順調。
 一方で、足元では依然として半導体をはじめとする部材調達のひっ迫等によるリードタイムの長期化や中国での電力不足による生産活動への影響などの懸念材料を考慮し、通期業績予想は据え置き。

(単位：百万円)	2021年12月期 3Q		2021年12月期 通期		進捗率	2020年12月期 実績
	実績	利益率	予想（8/6修正）	利益率		
売上高	53,976	-	71,800	-	75.2%	58,030
営業利益	4,950	9.2%	6,100	8.5%	81.2%	1,852
経常利益	6,077	11.3%	7,000	9.7%	86.8%	2,046
当期純利益	4,377	8.1%	4,900	6.8%	89.3%	1,346

期中平均 為替レート	ドル	108.58 円		108.00 円		106.76 円
	ユーロ	129.87 円		129.00 円		121.88 円
	人民元	16.77 円		16.80 円		15.48 円
	バーツ	3.45 円		3.45 円		3.42 円

2021年12月期 通期業績予想（セグメント別）



工作機械事業

- ✓ ものづくりの高度化による高精度機の潜在的な需要あるも、部材調達のひっ迫や輸送コンテナ不足等によるリードタイムの長期化、中国での電力不足による影響が懸念。

産業機械事業

- ✓ 自動車・電子部品・医療機器向け中心に堅調の見込み

食品機械事業

- ✓ 3Q累計実績は、年度計画に対しほぼ計画通りの進捗。
- ✓ 製麺機や米飯装置の販売が継続する見通し

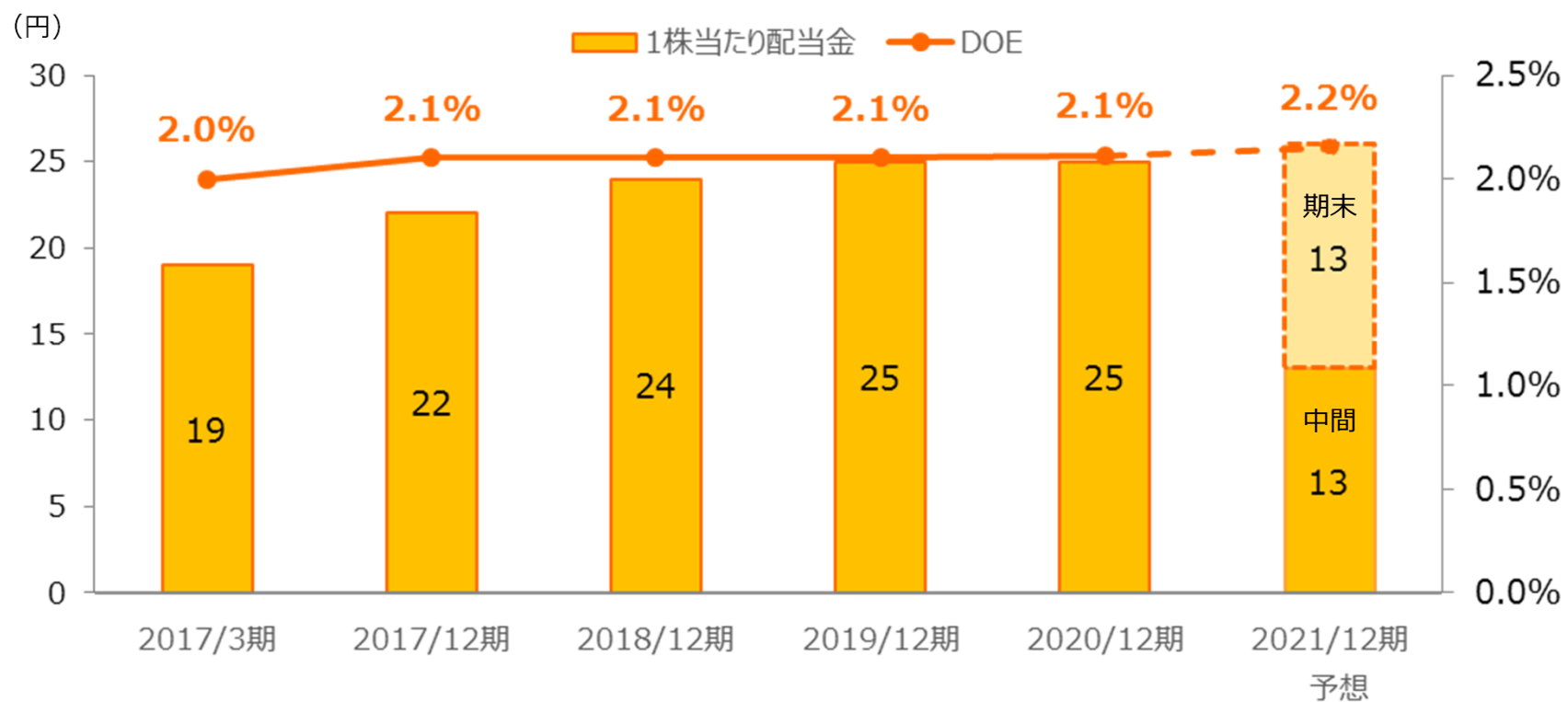
その他事業

- ✓ 金型成形事業は堅調を維持するも、セラミックスの外販が弱含む見通し

(単位：百万円)	2020年12月期	2021年12月期		
	実績	3Q 実績	修正通期計画 (8/6公表)	進捗
工作機械事業	38,024	37,248	48,600	76.6%
産業機械事業	10,931	6,928	10,500	66.0%
食品機械事業	3,585	5,063	6,500	77.9%
その他事業	5,488	4,735	6,200	76.4%
売上高 計	58,030	53,976	71,800	75.2%
工作機械事業	2,896	5,260	6,800	77.4%
産業機械事業	596	274	500	54.9%
食品機械事業	65	566	600	94.3%
その他事業	319	688	700	98.4%
セグメント利益 計	3,878	6,790	8,600	79.0%
調整額	△ 2,025	△ 1,839	△ 2,500	73.6%
営業利益 合計	1,852	4,950	6,100	81.2%

配当方針 : 株主資本配当率 (DOE) 2%以上

✓ 2021年12月期の配当は中間13円。期末配当は13円の予定。




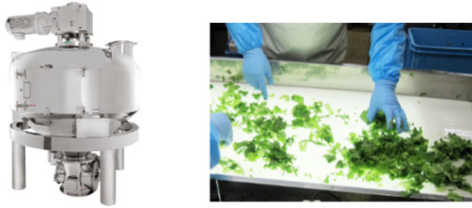


I. 2021年12月期 3Q決算概要

II. 2021年12月期 業績予想

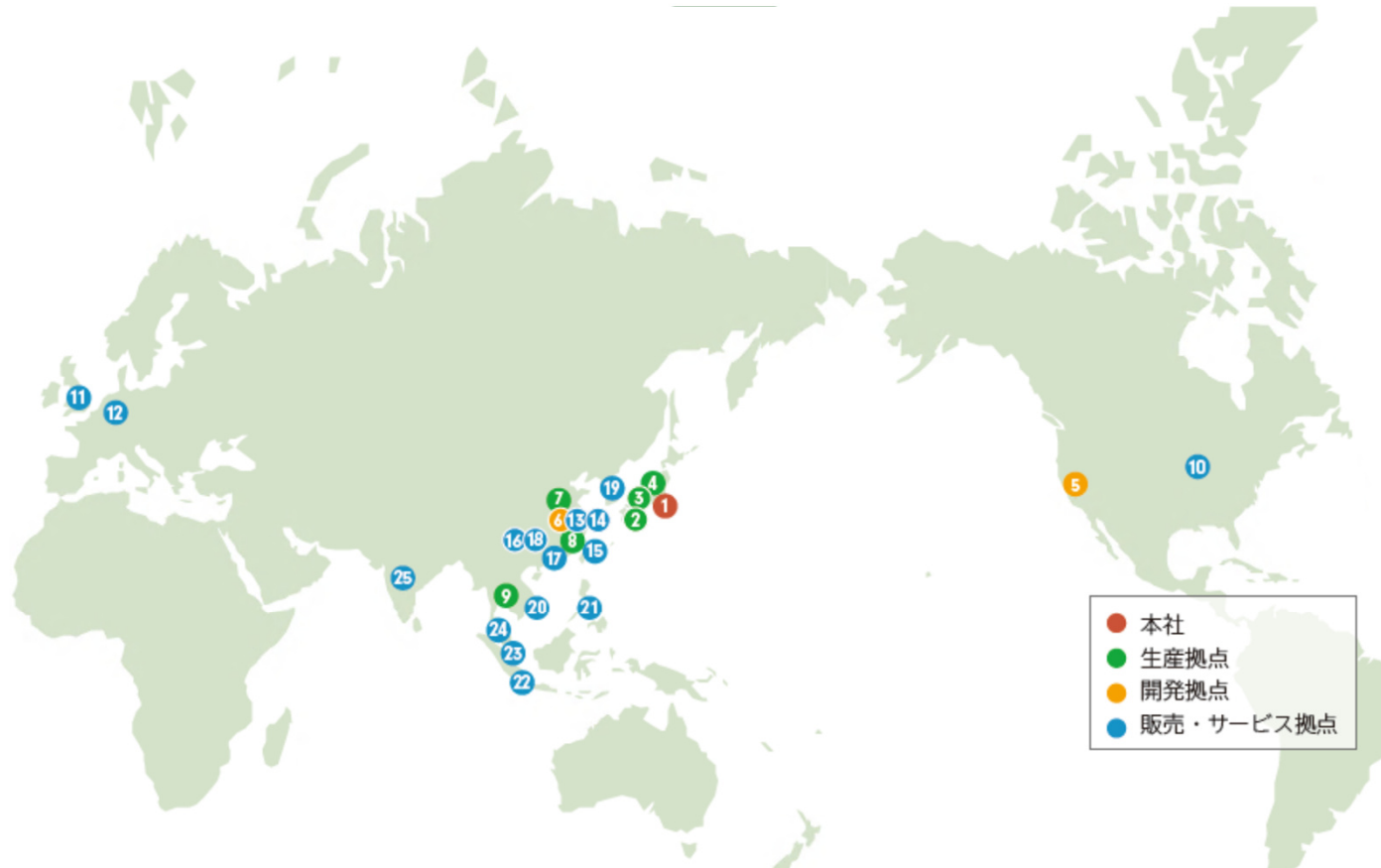
(参考資料)

【参考資料】 事業セグメントの構成と主要製品



セグメント	工作機械	産業機械	食品機械
<p>主要製品</p>	<p>【形彫り放電加工機】 【ワイヤ放電加工機】</p>  <p>【細穴放電加工機】【金属3Dプリンタ】</p>  <p>【マシニングセンタ】</p> 	<p>【横型射出成形機】</p>  <p>【縦型射出成形機】</p>  <p>【軽金属射出成形機】</p> 	<p>【製麺機（製麺ライン）】</p>  <p>【無菌包装米飯製造装置】</p>  <p>【その他食品加工機】</p> 
<p>販売市場</p>	<p>自動車、家電、電気電子機器、航空宇宙、医療機器、エネルギー 等</p>	<p>自動車、電気電子機器、医療機器 等</p>	<p>製麺（チルド麺、LL麺、冷凍麺等） パックご飯 製菓・製パン、総菜、野菜加工 等</p>
<p>生産拠点</p>			

【参考資料】 国内外の拠点



- 5 Sodick America Corporation (San Jose)
- 10 Sodick, Inc. (Chicago)
- 18 Sodick Enterprise (S.Z.) Co., Ltd.
- 6 Shanghai Sodick Software
- 11 Sodick Europe Ltd. (U.K.)
- 19 Sodick Korea Co., Ltd.
- 7 Sodick Suzhou Sodick Special Equipment Co., Ltd.
- 12 Sodick Deutschland GmbH (Germany)
- 20 Sodick Vietnam Co., Ltd.
- 8 Amoy Co., Ltd. Co., Ltd.
- 13 Sodick Electromechanical (Shanghai) Co., Ltd.
- 21 Sodick Philippines Inc.
- 9 Sodick (Thailand) Co., Ltd.
- 14 Sodick Tom (Shanghai) Co., Ltd.
- 22 PT Sodick Technology Indonesia
- 15 Sodick (Taiwan) Co., Ltd.
- 16 Sodick International Trading (Shenzhen) Co., Ltd.
- 23 Sodick Singapore Pte., Ltd.
- 17 Sodick (H.K.) Co., Ltd.
- 24 Sodick Technology (M) Sdn Bhd.
- 25 Sodick Technologies India Pte., Ltd.



1 本社／技術・研修センター



2 ソディックエフ・ティ宮崎事業所



3 福井事業所



4 加賀事業所

【参考資料】 主な展示会への出展情報

会期	開催地		展示会	概要・備考
2022年				
4/25~28	中国	上海	Chinaplas	
5/19~21	日本	金沢	MEX金沢 (第58回 機械工業見本市)	
6/7~10	日本	東京	FOOMA JAPAN	食品機械展示会
9/12~17	アメリカ	シカゴ	IMTS	国際工作機械展示会
11/8~13	日本	東京	JIMTOF2022 (第31回日本国際工作機械見本市)	国際工作機械展示会

※新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、展示会への出展予定が変更となる場合があります。

【参考資料】 自社Web展示会、公式YouTubeチャンネル

当社HP URL : <https://www.sodick.co.jp/>

□ 自社Web展示会では動画を交えて最新鋭機、最新技術をご紹介



□ 当社グループの海外拠点に関するコンテンツも多数展開



□ Youtubeチャンネルも開設中!



本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835